



リスク管理

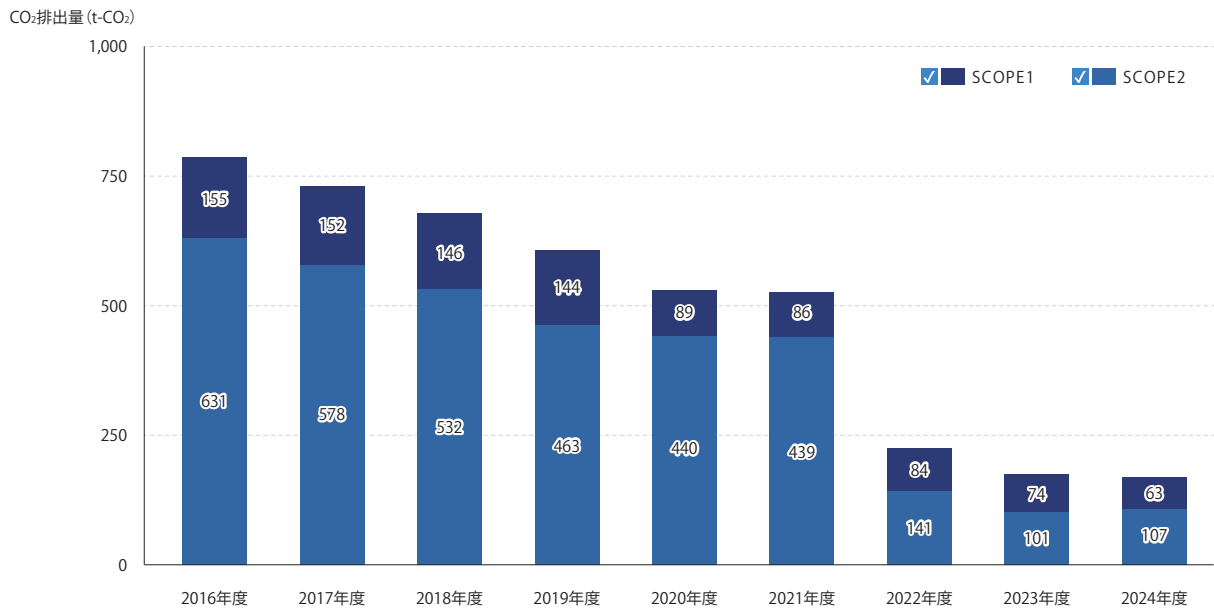
P44「リスク管理」をご覧ください。

指標および目標

脱炭素および関連する気候変動やエネルギー問題は、世界的な最重要課題であり、当社グループにおいても、排出しているCO₂削減に関して目標を立てて取り組むことのみならず、再生可能エネルギーによる発電の推進や、資源・エネルギー・製品を可能な限りリサイクルし廃棄物の発生を最小限化する循環型経済の実現を目指すことで、社会的なCO₂排出抑制に貢献していくため、下記の指標および目標を設定しています。

指標		目標
脱炭素社会実現	再生可能エネルギー発電設備容量確保	1GW（2025年度）
	SCOPE1,2 CO ₂ 排出量削減※1	排出量ゼロ（2030年度）
循環型経済実現	ケミカル・マテリアル資源循環率	85%以上（2027年度）

CO₂排出量実績（SCOPE1,2）※1



CO₂排出量実績（SCOPE3）※1

リース会社は膨大な資産を所有・管理していますが、ほとんどの取引において、リース資産はユーザーが選定し専属使用することから、排出量の算定が難しく、また、排出量が少ないリース資産を選定することや、リース資産の使用に伴う排出量をコントロールすることができません。リース資産の取引規模が増減することにより、CO₂排出量が増減するという特性もあります。このような特性はあるものの、当社はリース資産の所有者として、自社の影響が及ぶ範囲で排出量削減を支援する立場にあります。

排出量の多寡や削減コントロール等を総合判断し、カテゴリ11、13において輸送用機器分野（自動車、航空機）を対象に排出量を算定しております。

カテゴリ		2022年度	2023年度	2024年度
1	購入した製品・サービス	174,226	130,073	175,978
2	資本財	1,645	2,310	5,892
3	SCOPE1,2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動	78	72	71
5	事業から出る廃棄物	12	10	12
6	出張	165	167	169
7	雇用者の通勤	309	309	315
11	販売した製品の使用	108,798	65,908	92,396
12	販売した製品の廃棄	21	13	11
13	リース資産（下流）	722,389	770,237	765,430
15	投資	16,242	20,270	— ※2
合計		1,023,885	989,369	— ※2

※1 当社単体+国内連結子会社7社。ただし、SCOPE3については一部、国外連結子会社を含む

※2 未確定のため、確定後HPIにて正式開示予定

その他環境への取り組み

その他環境目標に対する実績

2024年度目標	2024年度実績	達成率
リユース率※60%以上	72%	120%
中古取扱高1.7億円	1.94億円	114%
産業廃棄物処理委託会社への定期調査実施率による準法処理の徹底	全社	100%

※ リユース率とは：売却件数／リース・再リース終了件数

プラスチック資源循環促進法の目標設定および実績

2022年4月1日施行のプラスチック資源循環促進法に基づき、目標および2024年度のリース終了物件のプラスチック使用製品の廃棄物等の排出量および再資源化率を公表。

目標	2024年度実績
リース終了物件の再資源化率 2022年度を開始年度とする5年間のサーマル込み再資源化率：平均92%以上	リース終了物件のプラスチック使用製品の廃棄物等の排出量：212 t 再資源化率（サーマル込み）：93.5%

サーキュラーエコノミーにおける取り組み

動脈産業・静脈産業の結節点として、アライアンスパートナーとの協業により、サーキュラーエコノミーのプラットフォームを構築し、循環型社会・脱炭素社会を実現することを目指しています。⇒ p.27-30

生物多様性への取り組み

「経団連生物多様性宣言イニシアチブ」への参画

当社は、日本経済団体連合会と経団連自然保護協議会が策定した「経団連生物多様性宣言・行動指針」の趣旨に賛同し、「経団連生物多様性宣言イニシアチブ」に参画しました。

国内においてもネイチャーポジティブ※に対する企業の動きは今後一層活発化することが予想される中、当社は、生物多様性や自然資本の保全・再興に貢献する事業活動を推進してまいります。



森林保全とファイナンスの融合

当社は、森林保全に取り組む(株)グリーンエルムと、ネイチャーポジティブの実現に向けた協業に関する基本合意を締結しました。グリーンエルムが手掛ける地域に適した自然循環型の天然林づくりと、当社の金融ノウハウを融合し、「Natural Forest as a Service」という新しい形の自然資本活用サービスの展開を目指します。

自然がもたらす価値を長期的に享受でき、時代のニーズに応じた「企業と自然の関係構築」を実現するソリューション開発を進めてまいります。



※ ネイチャーポジティブ：生物多様性の損失を止めて反転させるという概念